

本学学生と保護者の皆様へ  
新型コロナウイルス感染症に関する学長メッセージその 18

本学学生の皆さん、保護者の皆様、如何お過ごしでしょうか。

本学では 6 月 24 日に危機管理対策委員会を開催し、6 月 25 日から 8 月 5 日までの 6 週間の新たな方針を決定しましたので、その内容をご説明します。

**1) 状況は改善していますが、油断はできません**

前回、5 月 27 日に本学における新型コロナウイルス感染症対策の新方針についてご説明した後、幸いなことに、全国的に感染の「第 4 波」は終息にむかっていました。毎回登場する指標ですが、「直近 7 日間の新規感染者数が人口 10 万人あたり 2.5 人以上」を感染拡大の恐れがある地域とする基準では、新潟県でも 0.90 と 2.50 を下回っています。しかし、東京都では新規感染者数が再び増加に転じており、インド型変異ウイルスの拡大が懸念されています。

現在、沖縄には緊急事態宣言、北海道、東京、神奈川、埼玉、千葉、愛知、京都、大阪、兵庫、福岡にはまん延防止等重点措置が 7 月 11 日まで実施されていますが、多くの国民にはこの違いが何か、もはやわからないでしょう。確かに感染は下火になっていますが、コロナ慣れによる「緩み」が気掛かりです。また、1 年以上にわたる自粛生活の間に、経済的に困窮する人たちが増えていることも心配です。完全失業者は増えていないといいますが、仕事が 5 割以上減り、休業手当を受けていない「実質的」失業者が大幅に増加しているとされており、支援も十分ではないのです。

**2) ワクチンの職域接種についてのお願いです**

本学では前回のメッセージ以降、幸い PCR 陽性者はありません。他大学では、アルバイト先や家庭内で感染者に接触し、(濃厚) 接触者に指定される場合が目立ちます。これまで若い世代は感染しても無症状、もしくはごく軽症である場合が多いため、自らが感染しているという意識がなく行動してしまいましたが、英国型の変異ウイルスが主体となってからは、若い世代でも重症化するケースが増え、状況が変わっています。

感染対策の切り札はワクチン接種です。わが国は 7 月末までに高齢者への接種を完了しようとしており、さらに 6 月 21 日からはいわゆる「職域接種」が始められることになりました。1,000 人以上の規模の企業や大学は、必要なスタッフを確保できることを条件に、申請すればワクチンが共有されることになったのです。

このため 6 月 14 日に「新型コロナウイルスワクチンの職域接種について」という文書を学生・教職員の皆さん全員に発出し、全世界での接種経験から明らかになっている情報を共有しました。今回使用されるモデルナ製ワクチンの感染予防効果は 94% と極めて高く有効であること、短期的な副反応には大きな問題はないこと、中長期的な副反応についてもこれ

までは大きな問題がないことを説明しました。わが国では、今回ワクチン接種を受けることは義務ではなく、各自の任意であること、新潟医療福祉大学としては、後期から安全な学修環境を取り戻すために、できる限り多くの学生・教職員の皆さんにワクチン接種を受けていただくよう希望していること、接種を受けるか否かは皆さん一人一人の判断に委ねられることも説明しました。医療福祉系の大学であるが故に、接種を受けないという判断をした人たちが不利益を被ったり、差別を受けたりすることのないように、大学として皆さんの判断を尊重し、プライバシーを守ることをお約束しました。

厚生労働省からの連絡によれば、本学では7月5日の週以降にワクチンが配分される予定で調整中ですので、学内にワクチン接種を円滑に実施するための組織を立ち上げ、現在、準備を進めているところです。新型コロナウイルスに対する集団免疫を獲得するためには、集団の約6割がワクチンの接種を受ける（あるいは自然に感染して免疫を獲得する）必要があるとされています。わが国はこれまでの各種ワクチンへの評価が低く、かつ、副反応に敏感ですので、人類が初めて使用する新型コロナウイルスワクチンにどのような反応が生まれるかを心配しましたが、学内では多くの学生・教職員の皆さんからワクチン接種の申し込みをいただいていた大変ありがたく思っています。

インターネット上では、「専門家」からも、そうでない人たちからも、さまざまな意見が発信されていますので、皆さんには何が正しく、何がフェイクなのかを判断するのは難しいと思います。6月14日に学生・教職員に発出した「ワクチンの職域接種について」の学長メッセージでも触れましたが、改めて「こびナビ」というサイト（[www.covnavi.jp](http://www.covnavi.jp)）をご紹介します。新型コロナウイルス感染症やワクチンに関する正確な情報を提供することを目的として、2021年2月に開設されたサイトで、Q&A方式で知りたい情報が的確に提供されていると思いますので、心配なこと、気になることがあれば、このサイトをご覧になるようお勧めします。

### 3) 本学の基本ルールの再確認をお願いします

かねてからお願いしていますが、本学における感染防御対策の基本を再掲します。

- (1) 会食・カラオケを回避すること、
- (2) マスクを常に装着し、口・鼻に触れないこと、
- (3) 健康観察記録と行動記録を毎日継続すること、

の3項目で、学内に感染クラスターを発生させないことを目的としています。会食とカラオケは最も感染リスクが高い行動です。普段から同居している家族以外との会食は、ワクチン接種が終わるまで避けてください。マスクをつけて「静かな会食」をするのではなく、会食自体を回避してください。

この基本方針に加えて、今回の危機管理対策委員会で決定した方針は以下の通りですので、改めて確認してください。

- ・緊急事態宣言、およびまん延防止等重点措置の対象地域（北海道、東京、神奈川、埼玉、千葉、愛知、京都、大阪、兵庫、福岡、沖縄）への移動は禁止します
- ・その他の県への移動、および新潟県内での不要不急の移動は自粛を強く求めます
- ・やむを得ず移動する場合は、必ず「県外移動届」を学生課に提出し、新潟に戻ってからは「14日ルール」が適用されますので、自宅で待機してください
- ・PCR検査を受けることにより「14日ルール」は短縮できます
- ・PCR検査費用は、大学が必要と認めた場合には、従来通り大学が負担します（6月からは「PCR検査受検運用ガイドライン」の改訂版を参照してください）
- ・保健所等から濃厚接触者としてPCR検査を指示された場合、家庭やアルバイト先などで感染者や濃厚接触者が確認された場合、あるいは感染が不安な場合は、一人で悩むことなく、速やかに学科担当教員・学生課に報告し、指示を仰いでください
- ・PCR検査陽性者のプライバシーを守ること、偏見や差別、誹謗中傷から守ることを大学として徹底します
- ・学内に入構する場合は、マスクとネームプレートを装着し、各棟に設置されているサーマルカメラ（非接触型体温測定器）で体温をチェックしてください
- ・発熱等の症状がある場合の入構は禁止します（所属学科と学生課に報告し、自宅待機するとともに、医療機関に受診してください）
- ・入構後に体調不良となった場合は、所属学科・学生課に連絡し、指示に従ってください
- ・対面式の授業は「対面授業実施ガイドライン」、「施設管理ガイドライン」、「学科ガイドライン」に則って行われますので、必ず教員の指示に従って行動してください
- ・感染リスクが高いアルバイト活動（特に居酒屋など、飲食や接待を伴う場合）は、引き続き自粛し、やむを得ない場合は感染の防御に細心の注意を払ってください
- ・サークル活動やボランティア活動は、活動計画書を遵守し、感染防御対策を徹底してください
- ・会食が感染の最大のリスクとなることから、学内外を問わず、懇親会、新入生の歓迎コンパへの参加、学生寮やアパートでの複数による飲み会や会食、普段一緒に生活している家族以外との会食は控えてください
- ・学生食堂では「黙食（食事中は会話をしない）」、通学バスでは「黙乗（乗車中は会話をしない）」、その他の場面でも会話の時はマスク着用を徹底してください
- ・車に同乗することは感染リスクを高めるので、必ずマスクを着用し、車内で飲食をせず、換気をしてください
- ・臨床心理士等による相談を受けられますので、一人で悩まず学生課に連絡してください

本学の学費に関する支援制度については、本学ホームページに学生支援機構を始めとする各種の奨学金制度をご紹介します(<https://www.nuhw.ac.jp/applicant/campus/school/>)。また、学費の延納や分納のご相談にもお答えしていますので、学生課に相談して

ください。図書館は平日の9時～19時半、土曜日の9時～17時に開館しています。図書館内の学習支援センターでは、皆さんの学習をサポートしていますので、ホームページで確認して直接申し込んでください。就職に関する相談、面接の模擬練習に関する相談等も、全てオンラインでできます。どんなことでも、何か悩みを感じている皆さんは、遠慮なく各学科の担当教員や学生課に相談してください。

繰り返しになりますが、ワクチン接種が進むまでは本学学生としての自覚を持ち、分別ある、慎重な行動を続けてください。皆さんのご協力を宜しくお願いします。

また、保護者の皆様には、本学の現状をご理解いただきまして、学生教育に今後も変わらぬご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月24日

新潟医療福祉大学学長 西澤 正豊